

従業者向け

【東神奈川】保育所等訪問支援評価表

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	3		・(専任) 絵カードや持ち物リスト、机に貼って先生に指差し指示してもらうリスト表などの教具を、作成して園や学校にお渡ししている。保護者と家庭訪問をすることで必要な物がイメージしやすくなり、支援しやすくなった。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	・(専任) 家庭訪問数を調整すれば、専任がもう少し午後も回ることも可能だが、記録や議事録が追いついていない。 ・(兼任) 現段階では、午後の授業の訪問支援が行えていない。現場の人員配置と送迎専従スタッフがいれば、今後の訪問支援利用者数を増やせるかも。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・(専任) 今年度はMTGを年間スケジュールに組み込み、定期的に全員で業務目標を共有し、改善提案を出せる仕組みがあるため、昨年度までよりは広く参画できていると思う。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・(専任) 今回は多くの回答を得ることができた。今後もつなげていきたい。
適切な支援の提供	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・(専任) 毎回ではないが、必要なことは必ず直接共有するようにしている。訪問の合間に短時間でも教室に寄り、なるべく情報共有できるように心がけている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	2	・(専任) 今まででは研修を探して参加していたが外部の研修参加がNGとなつたため、今年度は探していないが、参加したい気持ちはある。 ・(兼任) オンラインにて一度研修に参加したが、それ以降外部の研修には参加できていない。(もともと研修の数が多くないこともあるのかも) ・(兼任) 保育に対しての研修がなかなかいため難しいが、あると安心する。
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		・(専任) 昨年度より丁寧にヒアリングしながら進めている。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・(専任) 児童発達支援担当者だけでなく、管理者やスタッフともその都度状況を確認しながら進めている。また、教室での療育の支援計画と連動した内容で作成し、大きなずれがないようにしている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・(専任) 初回はヒアリングシートを用いて必ず確認を行っている。それ以降も毎回のFBで細かく話し合いができるため反映しやすい。また、計画書の共有も今年度より始めた。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・(専任) 園での様子や、保護者の意向など、時間を作つて共有するように心がけている。

	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・（専任）必要に応じて確認しながら進めている。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・（専任）園での様子や、保護者の意向など、時間を作つて共有するように心がけている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2	・（専任）毎回ではないが、必要に応じて放デイ、児発共に、保訪担当者から声をかけるようにしている。 ・（兼任）必ずは難しい。振り返り後、確認することができるため、次にいかすことはできる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・（専任）毎回ではないが、お伝えするようにしている。今年度は、HUG の職員共有欄も使用して共有するようにしたが、いまいち活かせていないように思う。

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・（専任）直接支援と間接支援のバランスや、保護者様へのお伝えについてなど、学校や園のご意向を伺い、それぞれの訪問先に合わせて行っている。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・（専任）保護者宛の記録だけでなく、必要に応じて訪問先にも都度共有を行っている。また、以前の様子も容易に確認が取れるよう、個人個人のページを作成し、ドライブでまとめているため、面談でも話が進めやすい。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・（専任）記録に時間がかかることもあり、即時的な FB を行うため丁寧に家庭訪問や面談を行っている。訪問先からのご相談事も増え、ケース検討会議や打ち合わせに参加させていただく機会も多い。 ・（兼任）定期面談に加え、事業所や保護者が必要と感じたときに、直接お話を伺う機会を設定している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・（専任）担当者が参画するため、振り返りも、以降の支援についても、有意義な情報共有や情報提供ができる。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・（専任）事業所や相談支援員、療育センターとの関わりも増え、情報を共有しながら進めることができている。関係機関連携加算が算定できるような、三者での会議などは行うことができていない。 ・（兼任）他事業所との連携がなかなかとれていないため、関わりを深めていくたい。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・（専任）園から引き続き就学後も訪問を行うケースが増えており、いろんなケースを経験し、年長児の母にお伝えできる内容も増えてきた。園との情報共有を行なながら進めることができている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	・（専任）担当児が増え、いろいろな事象に向き合うことが多くなり、SV や PT にアドバイスをいただく機会も増えてきている。 ・（兼任）スタッフや社内アドバイザーに相談し、助言をいただきながら進めいく。

	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・(専任) HUG で細かく共有を行っている。訪問支援利用の保護者様からは返答のコメントをいただくことが多い。また、ドライブの訪問記録にて個人個人のページを作成しているため、面談でも話が進めやすい。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・利用児童も増えているため、機会があれば訪問支援の研修もできると良い。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・(専任) 契約時には丁寧な説明を行っている。管理者にも協力をいただいている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・(専任) わかりやすい説明シートを作成し、そのシートに沿って説明を行っている。訪問先の意向も聞きながら進めている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・(専任) 保護者やお子様の思いを反映するとともに、気になる箇所や抜けがないかを確認してもらうように心がけている。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		・(専任) 面談や家庭訪問の回数を昨年度より大幅に増やすことができている。そのため、保護者様からご相談をいただく機会も増えた。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	1	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・年度の始め、もしくは契約時に、本人や保護者が望む支援方法について確認している。学校事情にもよるが、できるだけその希望が叶えられるように、間に入り対応している。
	34	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1	・(専任) 研修の内容をブログでアップしてもらうことができた。Instagram でも今後発信していくと良いが、大幅に利用者を増やすことは難しいので慎重に進めていきたい。

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		・(専任) 訪問先からのケース検討会議や打ち合わせの依頼も増えている。また、学校や園の支援計画書作成の相談なども増え、時間を取って対応している。 ・(兼任) 訪問支援終了後は、次の授業があり、なかなか先生と話せないこともありますため、放課後に電話連絡を行ったり、メールでやりとりしたりしている。

	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		・（専任）家庭訪問や面談で丁寧に対応を行っている。・（兼任）訪問記録を読んだだけでも、授業の様子や本人の状況が伝わるように努めている。保護者の方と直接お話できる場合（迎え時など）があるときは、短い時間ではあるがお伝えしている。
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		・（専任）今年度は毎回のFBの他、園や学校でのケース会議に参加したり、支援計画作成の相談にも乗っている。また、加配申請の際にも助言を求められるなど、信頼関係の深まりを感じている。
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	・毎月のミーティングで、ヒヤリハットや実際にあった事故や怪我について全員で共有し、同じことが起こらないように努めている。
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1	
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		